

# 一般社団法人アドバンスト・ビジネス創造協会

## 2022年度定時総会 資料

2022年6月9日(木) 10:30~11:00 Zoomにて開催されました。

定時総会議事内容は過半数以上の賛成をもって、可決されましたのでご報告いたします

ここでの内容の内、2022年度事業計画、理事8名選任に関して、以下、ご紹介致します。**2022年**

### 度事業計画

#### I. 2022年度事業計画

##### (1) 全般の取り組み

2022年度は、今後の飛躍に向けてしっかりとした基盤対策に手を打って行かなくてはなりません。また、日本における これからの「労働人口減」というマイナス影響へも対処していくことが求められております。

どうこの流れに対処してゆくのか？未来を見据えた対応を描き、行動していかなくてはなりません。その基本は、企業変革を推進していく人材育成にあるのでは無いでしょうか？そしてそれが、世の中を変えてゆく Disruption (破壊的創造) への欠くことのできない対応であり、DX 推進を行っていく上で必要とされる重要事項であるとだとかんがえております。

そこで引き続き、「Disruption・DX への対応」をメインテーマに掲げ、これへの具体的対処施策を皆様と共に考え、DX への対応を試行し、次の時代へと飛躍を遂げて行く活動を中心に据え、取り組んでまいります。

このように焦点を絞った協会活動を通して新時代を担う人材の育成、レガシーな組織の変革に寄与してゆくべく努めてまいります。

特にABC 協会では、既存のビジネスの視点を変えて変革を推進していくことに集中していくと共に、新商品・新サービスの取り組み事例から新しい視点の創造についてもアカデミーを通して研究を続けてゆきます。

#### 重点施策

- 1 組織開発・人材育成
- 2 ビジネスプロセス生産性の向上
- 3 協会のビジネス活動
- 4 協会の基盤強化

#### 1. 組織開発・人材開発

##### (1) デザインポートセンター構想

港街の様に、様々な人が集まり新しい文化を形成する様に、新しいコラボ環境を推進していきます。特に、Disruption (破壊的創造) 対応・DX を推進する人材の育成、或いはプロデュース出来る人材の育成に向け、以下の施策を継続してゆきます

- |         |   |
|---------|---|
| BtoB 対応 | <ul style="list-style-type: none"><li>・新たに短期形式の研究会をスタートし、集中的に開催ビジネスを再デザインする人材育成を目指す「ビジネス・デザイン・スクール」を企業研修としてメニュー化する</li><li>・自らの企業・組織の文化・風土を正しく理解し、未来に向けた組織改革するために組織診断プログラムを推進していく</li></ul> |
| BtoC 対応 | <ul style="list-style-type: none"><li>・研究会に参加されたOB、海外、地方、学生など幅広い層で</li></ul>  |

コミュニケーションできる場として“テレビア・クラブハウス”の輪を広げていき、様々な視点を共有する場を広げます。

- ・ SNS を活用した、若い世代に向けた協会活動のアピール
- ・ 同じ課題を持った有識者との研究調査プロジェクト  
NFBC(一般社団法人近未来ビジネスコラボレーション協会)、  
22世紀学会、  
ITHRD(一般社団法人IT人材育成協会)、  
JISA(情報サービス産業協会)など他の協会活動と協調し推進してゆきます

(2) 協会ならではの特色あるプログラムの中より、個々の企業に合わせて提供し、DXを推進する人材の育成を図っていきます  
また、中小企業含め広く Disruption の影響を理解促進させてゆきます。

- ・ ハイパーエクセレント研修  
経営者向け、利益を上げるための管理、要件定義の従来のプログラムに加え、リモート業務で重要なコミュニケーション、ポジティブ組織研修など新プログラムも拡充させ、対応をサポートしてゆきます。
- ・ コンピテンシー診断  
DXを推進する人材育成は、時間がかかり、また誰でも出来るものではなく適材な人材が必要です。コンピテンシー診断により適材人材発掘し、育成する視点が重要になっており、コンピテンシー診断の対応と推進をしていきます。

(3) 研究会内容の Disruption 対応研究への具体的対応と最新技術知識研究

- ・ Disruption にどう対応していくのか? DX をどう推進していくのか? の観点から、「これから」に具体的な方法を研究の検討内容としてゆきます。
- ・ 従来の研究会での検討だけでなく、参加者に寄り添ったティーチングからコーチングに、新しい活動形態を検討いたします。
- ・ 各社働き方が変わり、従来の研究会の参加モチベーションの変化の兆しがあり短期集中的な、研究会の希望するニーズがあり、また、技術者向けの最新テクノロジー、開発技法など、現場に即効性のある知識を習得のニーズもある。  
そのため、今後短期の研究会を企画してゆきます。

(4) 人と人とのつながり・刺激を与える場を、感染状況をみながら提供して参ります。  
また、Zoom 会議の併用することにより、海外とのコラボ、地方企業への展開・サポートを強化し参加する魅力のある研究会活動を目指します

## 2. ビジネスプロセス生産性の向上

(1) 将来対応を見据えた働き方改革の検討、知見の共有化

働きがいを感じると同時に、如何に生産性を上げていくのか? そのような働き方改革を推進について検討を進めていきます。

(2) システム開発における生産性の向上の研究

これまで“開発”を中心に着目してまいりました。しかしシステムの成功には“設計”～“活用”まで全般に目を向けて生産性を高める(システムの失敗を防ぐ)必要があります。AI 活用も考えながら、QCD の向上を図る「リスク管理システム」の研究に取り組んで参ります。

### 3. 協会のビジネス活動

#### (1) エグゼクティブ・ビジネス海外研修の実施

カリフォルニア州立工科大学ポモナ校の教授人より最新情報の授業の受講とあわせ現地の先行企業の経営経験者とディスカッションをとおして、Disruption（破壊的創造を起こす重要な人財である企業内起業家（イントラプレナー）の育成を促進します。（実施準備を進めております）

#### (2) 事業受託 国、協会よりの調査・研究業務の受託

Disruption・DXを乗り越えて行く上で必要となる要件など、協会の持てる知見を活かした調査・研究の受託によりより広く協会の考えを広めていきます。

#### (3) 企業サポート

多様な変革する中、企業における悩み・困り事への対処を客観的な視点で、未来の目標と一緒に描いていくことをサポートしてゆくコンサルジュ・サービスを広めてゆきます。（組織診断、目標設定、サービスデザイン、行動診断）

### 4. 協会の基盤強化

会員拡大、分科会活動について、リモート中心の新環境の中で拡充を図るべく、やり方を模索していきます。

- (1) ホームページ、セミナー企画を通して、ABC協会の活動を発信し、コンタクトを得る  
Youtubeで限定の講演動画の配信の検討、ZOOM開催での内容の録画配信等
- (2) 過去に研究会・セミナーに参加された方に、ABC協会の活動の発信し、再度コンタクトする、B to Cへの取組（トレビア・クラブハウスへの開催）
- (3) ABC協会会員を中心にファンマーケティング（魅力ある協会活動）することにより  
会員（ファン）からのご紹介による会員拡大を強化する

## ◇理事8名選任の件

異動、ご退任にともない6名の理事の方が辞任されました。  
そこでご交代を含めまして8名の新任の方をお迎えします。

### ◆ 理事候補（敬称略）

（新任）

理事	岡田 康裕	日鉄ソリューションズ株式会社 執行役員
理事	香田 隆之	味の素株式会社 執行役専務
理事	坂田 博志	日本郵便株式会社 常務執行役員・CIO
理事	島崎 市朗	アサヒロジ株式会社 取締役副社長
理事	高井 健志	BIPROGY（ビプロジー）株式会社 業務執行役員 旧社名：日本ユニシス株式会社
理事	戸崎 富雄	住友林業株式会社 執行役員
理事	戸田 晴康	日本通運株式会社 執行役員
理事	福岡 俊一	日本電気株式会社 執行役員

以 上